

独立行政法人日本貿易保険 決算報告書

(2012年4月1日から2013年3月31日まで)

(単位:百万円)

区分	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)	備考
収入				
業務収入	18,766	15,239	△ 3,527	
正味収入保険料	11,621	9,908	△ 1,713	(注1)
正味回収金	2,000	20	△ 1,980	(注2)
受取利息	5,145	5,056	△ 89	(注3)
その他業務収入	-	254	254	
被出資財産からの回収金	6,036	10,034	3,998	(注4)
有価証券の償還等	49,738	54,428	4,690	(注5)
短期借入金	-	-	-	
前年度繰越金	10,441	10,441	-	
計	84,981	90,142	5,161	
支出				
業務支出	56,728	37,410	△ 19,318	
正味支払保険金	19,544	388	△ 19,156	(注6)
人件費	1,247	1,312	65	
国庫納付金	31,455	32,473	1,018	
その他業務支出	4,482	3,238	△ 1,244	(注7)
投資支出	1,106	449	△ 657	
システム開発費	1,036	445	△ 591	(注8)
その他投資支出	70	4	△ 66	(注9)
有価証券の取得	-	50,053	50,053	(注5)
短期借入金返済	-	-	-	
その他の支出	-	-	-	
翌年度繰越金	27,147	10,937	△ 16,210	
予算差異	-	△ 8,707	△ 8,707	
計	84,981	90,142	5,161	

(注)金額は、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

【予算額との差額の主な要因は、以下の通りです。】

- (注1) 保険契約高は当初予定を上回りましたが、期間損益を加味しております正味収入保険料は予算額を下回りました。
- (注2) 正味支払保険金が少なかった事等により、予算額を大幅に下回りました。
- (注3) 国庫納付のため保有する有価証券が減ったことから、予算額を下回りました。
- (注4) 回収金から被保険者に配分する利息が減ったことから、予算額を大幅に上回りました。
- (注5) 有価証券の買い替え等により、有価証券の取得及び償還等の額は予算額を大幅に上回りました。
- (注6) 予測よりも保険事故が少なかったことから、予算額を大幅に下回りました。
- (注7) 事業費及び一般管理費の減少を図り、その他業務支出は予算額を下回りました。
- (注8) システム開発案件の精査等により、予算額を大幅に下回りました。
- (注9) システム関連機器等の投資支出の抑制により、予算額を大幅に下回りました。